

【様式1】

団体名 座間味村教育委員会	連絡先 TEL : 098-987-2153 Eメール : syakai@vill.zamami.lg.jp
-----------------------------	--

1 実践事項（今年度の実践）

島の将来を担う児童生徒に風土・歴史・文化等が異なる地域（人、地域）での学習を通し、視野を広げ、社会性を養い青少年の健全育成を図る。

2 実践内容

- ・座間味村ホームステイ事業
- ・ICT（オンライン）を活用した国際交流学习（試験的实施）
- ・座間味村・孺恋村交流事業

3 説明資料（写真）

- ・ICTを活用した国際交流学习



- ・座間味村・孺恋村交流事業



4 成果

- ・コロナ渦において中止となっていたホームステイ事業が令和5年度から再開となり、応募枠3名に対し、8名の申し込みがあった。選考基準に英検4級以上またはそれと同等と認められるものを対象としており、選考にあたり今後英検の受験やホームステイに向けた英語学習への意欲向上が見られた。（次年度から英検等受験に係る費用の補助事業も開始予定）
また、ホームステイ事業では事業に参加できる人数に限りがあることから、試験的にICTを活用したオンライン国際交流学习を実施。アメリカ、イギリスなどの母国語が英語となる国ではなく、日本と同様英語を学習している外国の学校とオンラインで繋ぎ、交流をしながら相互で英語力を高める。今年度は2回実施。次年度からは予算化し、事業として実施する。
- ・座間味村と姉妹村である孺恋村との交流事業として、座間味村立中学2年生と孺恋村立孺恋中学2年生で夏季・冬季と互いに行き来し、交流を行う。今年度は下記の交流事業は去った台風6号と時期が重なり中止。冬季については本村中学2年生12名が孺恋中学生との交流事業を行い、本村とは全く異なる気候、文化、生活等貴重な体験ができた。また、交流事業に参加することで

3校生徒での現地での発表や視察、野外活動など団体行動を通して、チームワークや「やり遂げる力」がついた。

5 課題

- ・ ホームステイ事業単価が高く毎年参加する人数に制限がある。
- ・ オンライン学習事業については委託事業となり、ホームステイ事業と比較し学校、クラス単位で全員が一斉に参加出来るメリットがあるが、こちらについても単価が比較的高く年に2回程度の実施となる。将来的には、実施に対する成果を見える化し回数を増やす、併せて街中留学等で海外に行かなくても出来る留学事業などの検討が出来ると良いと考える。
- ・ 交流事業については、相互に行き来し全く違う場所での体験を通して生徒への刺激や成長がみられるが、受け入れる際の学校や先生方の負担も大きいと考える。特に今年度は台風により本村での受け入れは無かったが、先方に受入れして頂く際の調整は大変だったと思う。また、本村での受け入れ時期が毎年夏休みの時期となっているため、受入れ体制や配置人数など今後工夫する必要がある。